

# 幼児教育における コモン・ワールドディングの教育学

2024年3月9日（土） 10:00-12:00 （開場 9:30）

オンライン開催

同時通訳あり 参加費無料 事前申込制（先着1000名）

コモン・ワールドディングの教育学は、自然／文化の二項対立に挑戦し、従来の環境教育が内包している人間中心主義と植民地主義を克服することを企図するものです。この概念を深化させてきたヴェロニカ・パシーニ-ケチャボー氏の研究グループを招き、これからの時代の子どもと自然の新たな関わりのためのアプローチについて考えます。

司会 野澤祥子（東京大学 CEDEP 准教授）

開会挨拶 浅井 幸子（東京大学 教授／CEDEP 副センター長）

講演 幼児教育におけるコモン・ワールドディングの教育学  
Common Worlding Pedagogies in Early Childhood Education

ヴェロニカ・パシーニ-ケチャボー（ウェスタン大学 教授）

ナーダ・ネルソン（ウェスタン大学 博士課程）

テレサ・スミス（幼児教育ネットワーク ペダゴジスタ）

講演では、コモン・ワールドディング・ペダゴジーについて、10年以上にわたっていかに思考し、実験してきたかを報告します。その10年の間に、私たちの実践の焦点は、「発達する子ども」から「複雑で、絡み合っていて、相互に影響しあい、共同形成する子ども-世界の関係性」へとシフトしてきました。教育者と子どもたちが、他者（人間や人間以上の存在）と「世界を世界する（共有する）」教育的出会いの例を提示します。

質疑応答



ヴェロニカ・パシーニ-ケチャボー氏 Veronica Pacini-Ketchabaw

カナダ オンタリオ州 ウェスタン大学教育学部教授（幼児教育）、カリキュラム研究学際センター長。Common Worlds Research Collective（子どもたちと場所、物質、他の種との関係をたどる）、Early Childhood Pedagogies Collaboratory（21世紀型教育法の諸要素、条件、複雑さを実験する）に貢献する研究や執筆を行っている。

<https://www.veronicapaciniketchabaw.com/>

お申し込みは CEDEP のウェブサイトから

<https://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/eventlisting/symposium/20240309symposium/>

